

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道4号 ^{しちのへ} 七戸バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：青森県十和田市大沢田字北野 至：青森県上北郡七戸町荒熊内	延長 5.7 km	
事業概要 国道4号は、東京都中央区と青森県青森市を結び、広域交流の促進及び沿線市町村の連携を図る幹線道路である。七戸バイパスは、七戸町内の交通混雑や隘路区間の解消、沿道環境の改善を目的としている。		
H元年度事業化	H元年度都市計画決定	H6年度用地着手
H7年度工事着手		
全体事業費	約94億円	事業進捗率 15%
		供用済延長 0.0 km
計画交通量	9,700台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 80/97億円 総便益 (残事業)/(事業全体) 152/152億円 (事業費：60/77億円) (維持管理費：20/20億円)
		基準年 平成15年 (走行時間短縮便益：135/135億円) (走行費用減少便益：12/12億円) (交通事故減少便益：6/6億円)
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（新幹線七戸駅（仮称）へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（緊急輸送道路が通行不能になった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する） 他16項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 七戸バイパスは、七戸町内の交通混雑解消に加え、新幹線七戸駅（仮称）へのアクセス道路としてさらに重要度を増すことから、七戸町よりバイパス早期整備に関する要望（H15.11.28）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変化はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費：14億円（進捗率15% [暫定20%]） うち用地費：9億円（進捗率46%）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 鉄道との交差協議に時間を要したが、現在は事業進捗に係る問題は解消しており、終点側（主）三沢七戸線～終点部間について、平成10年代末の部分供用を目標に事業推進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 ・工期短縮に効果的で経済的でもあるプレキャスト製品の長尺化等、コスト縮減を検討中。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
 <p>凡例 供用中 再評価箇所</p>	 <p style="text-align: center;">一般国道4号 ^{しちのへ}七戸バイパス 事業再評価 L=5.7km T'99=20,254台/日</p>	

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。